

# 自然と建築・風土と建築

## 1. はじめに

－自然と調和した暮らしと伝統建築

## 2. さまざまな自然、さまざまな風土

－風土・・・自然と人間の時間蓄積がつくりだしたもの

## 3. 伝統的な日本の民家について

－生活の場、労働の場、接客の場の統一

－今和次郎『日本の民家』

－自然と人間の暮らし・労働の調和

－それらが神仏の世界と結ぶ

## 4. 地域の暮らしと建築

－群馬県中之条町、旧六合村赤岩地区の伝統的建造物群について

－明治初期の大火と養蚕農家群

－国の指定と旧六合村の指定

－保存対象に指定された裏山、田畑、墓、お堂、物置、農機具小屋、・・・

## 5. 地域とは何か

－自然と人間の地域＝社会

－山＝森・・・死者の魂が還るところ・・・その入り口につくられた墓、お堂

－地域の維持を目的にするなら、物置も農機具小屋も必要

－伝統的な地域＝地域のさまざまな要素が一体的に展開している場所

－暮らし、労働、社会、経済、文化、土着的な信仰などが分離されずに展開している

## 6. 地域景観と地域の建物

- すべての要素が結びあっている、一体的に展開しているがゆえに、地域景観と地域の建物が調和していた
- 要素がバラバラになった時代＝近代・現代における地域景観の混乱、地域景観と個々の建物の不調和

## 7. 再び風土とは何か

- 長い時間蓄積のなかで、すべてが関係性を結びながら生みだされてきたもの
- ゆえに風土は景観としてもとらえられるし、文化や信仰のなかにもみいだしうる

## 8. 建築とコミュニティ＝共同体

- 個の建築がつくりだした劣悪な景観
- 個の建築と閉じられた空間
- 自然から閉じられる、人びとから閉じられる、地域の文化・信仰から閉じられる
- 孤独な社会の成立

## 9. コミュニティ＝共同体学としての建築学

- 個々の建築から面の建築へ
- 地域に入る、地域を創造する建築へ

## 10. まとめに代えて

- 建物を作ること、社会のあり方を問いなおすこと